

平成23年度病害虫発生予報第10号(1月予報)

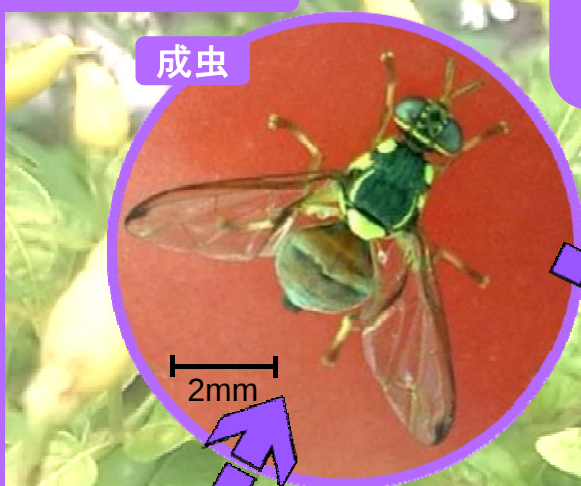
＜お知らせ＞ 平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。
平成23年度病害虫発生予察注意報第2号(イネヨトウ)を発表しました。
平成23年度病害虫発生予察技術情報第8号を発表しました。

今月のトピックス

ナスミバエ(ナス科)

学名: *Bactrocera latifrons*

成虫



産卵



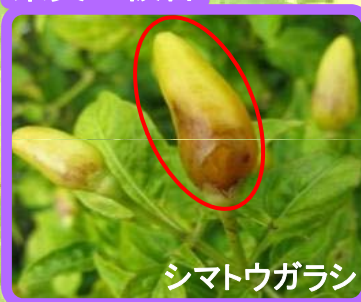
蛹



幼虫



果実の被害



生態と被害

ウリミバエ(右)との区別点



※眼の色は個体差あり

成虫・幼虫ともに体長は6-8mm。東南アジアおよび南アジアに広く分布している。日本では、与那国島と沖縄本島においてのみ発生が確認されていたが、与那国島では2011年に根絶が確認された。成虫はウリミバエに似るが、前胸背板中央部に黄色線が欠如していることや、翅の斑紋から容易に見分けることができる。

成虫はナス、トマト、ピーマン、トウガラシ、テリミノイヌホオズキなどのナス科果実に好んで産卵するほか、一部のウリ科果実にも産卵する。果実内でふ化した幼虫は果肉を食い荒らして食害し、成熟すると果実から飛び出し、土中で蛹となる。沖縄では年に7~8世代発生を繰り返すと考えられている。本種は検疫対象害虫に指定されている。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年12月28日
沖縄県病害虫防除技術センター